

マルウェア(ウイルス含む)対策 USB ソリューション



USB ブートスキャン マニュアル

この度はワクチンUSB3（以下、本製品と表記します。）をご購入いただき、誠にありがとうございます。このマニュアルでは、本製品のUSB ブートスキャンの使用方法について説明しています。本製品を正しくご利用いただくために、本マニュアルを必ずお読みください。



目次

1 ご使用になる前に	3
2 使用許諾.....	5
3 USB ブートスキャンについて	7
USB ブートスキャンの特長	8
USB ブートスキャン時の動作環境.....	9
5 制限事項について	10
6 使用の流れ(概要)	11
7 事前セットアップ(STEP1).....	13
定義ファイル更新	13
USB ブートスキャン設定.....	14
USB ブートスキャンへ切り替え	15
8 ワクチンUSB ブートスキャンを使用する(STEP2)	16
9 通常のワクチンUSB モードへ戻す(STEP3-1).....	20
10 ログを確認する (STEP3-2)	21
ログ内容.....	23
11 通常のワクチンUSB モードとの比較.....	26

1 ご使用になる前に



本製品は、Trellix 社（旧：McAfee 社）製エンジンを搭載したマルウェア(ウイルス含む)対策用アプリケーションプログラム及びウイルス定義ファイル等のコンテンツ更新版（以下、Trellix プログラムと言います）が格納されたライセンス製品です。本製品をご使用になる前に、本製品に別途同梱している弊社とお客様との本製品の Trellix プログラムに関する取り決めを規定したソフトウェア使用許諾約款（本製品の定義、ライセンスの許諾、禁止制限事項、免責、保証等）を必ずご確認ください、ご了承いただきますようお願い申し上げます。お客様が本製品を使用開始された場合は、約款に御同意いただいたものといたします。

※Trellix は、2022 年に McAfee Enterprise と FireEye の統合により誕生した新しいブランドです

使用上の注意事項

本製品を正しくお使いいただくために、必ず下記に示す注意事項をお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。本製品を接続して使用する対象機器の故障、トラブルやデータの消失・破損、または誤った取り扱いのために生じた本製品の故障、トラブルは、保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

警告表示の意味

 警告	この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容を示しています

警告

- ・本製品を取り付けて使用する際は、取り付ける対象機器のメーカーが提示する警告、注意事項に従ってください。
- ・指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火、火災、発熱、感電などの原因となります。
- ・本製品の分解や改造、修理等は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の恐れがあります。
- ・本製品でウイルススキャン、ウイルス削除・隔離を行う対象機器の作動中に本製品は使用しないでください。対象機器のパフォーマンスに影響が出る可能性があります。
- ・濡れた手で本製品を使用しないでください。感電の恐れや故障の原因となります。
- ・小さなお子様や乳幼児の手の届くところに置かないでください。キャップ等を誤って飲み込むと窒息の恐れがあります。万一飲み込んだ時は、すぐに医師にご相談ください。
- ・歩行時や運転中などの使用はしないでください。事故の原因となる恐れがあります。
- ・本製品は水を使う場所や湿気が多い場所で使用しないでください。感電の恐れや、火災故障の原因となります。
- ・本製品や本製品を接続した機器に液体や異物が入った場合、または本製品や機器から煙が出たり、悪臭がした場合は、すぐに機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、感電の恐れや火災の原因となります。
- ・本製品に触れる前に、金属等に手を触れて身体の静電気を取り除いてください。静電気により破損、データ消失の恐れがあります。
- ・無理に曲げたり、落としたり、傷つけたり、上に重いものを乗せたりしないでください。故障の原因となります。
- ・本製品のコネクタに汚れ、ほこりなどが付着している場合、乾いたきれいな布で取り除いてください。汚れたまま使用すると故障の原因となります。
- ・本製品にデータの書き込み・読み出し中に、本製品を機器から取り外したり、機器の電源を切ったりしないでください。データが破壊、または消去される可能性があり、製品の故障の原因となります。

注意

- ・本製品を取り付けて使用する際は、取り付ける対象機器の取扱説明書の使用方法、注意事項に従ってご使用ください。
- ・本製品に保存するデータ、または保存されるデータは、必ずデータのバックアップを取ってください。本製品内に記録したプログラムやデータの消失、破損等の責任は負いかねますので予めご了承ください。
- ・本製品はフラッシュメモリを使用している関係上寿命があります（製品保証期間はライセンス期間に準じます。製品保証期間最長 5 年間です）。長期間ご使用になると、データの書き込み・読み込みができなくなります。
- ・本製品の初期化をする場合は、本製品内に必要なデータがないことを確かめた後に行ってください。
- ・弊社は、お客様が Trellix プログラムを格納した本製品を使用する非独占的且つ移転不能な権利を認めます。本製品は、あくまで、お客様が若しくはお客様が使用許諾約款に規定される監査を弊社又は販売代理店に許可可能な関連会社での自己使用に限定されます。国内外を問わず、如何なる場合も、本製品の第三者へのレンタル、譲渡はできません。万一お客様が、本製品を海外に輸出するときは、国内外の、関連するすべての輸出法規並びに手続きに完全に従ってください。
- ・本製品は、国内輸送を想定した梱包にてお届けしています。海外輸送される場合は、お客様に海外輸送用に梱包いただきますようお願いいたします。
- ・お客様がウイルススキャンを実行する際は必ず最新のウイルス定義ファイルをダウンロードしてください。
- ・本製品に組み込まれた Trellix プログラムは、発見したコンピュータウイルスそのものを除去するのではなく、ウイルスに感染したファイルを削除・隔離するものです。（スキャンのみの設定の場合は感染したファイルの削除を行いません。）OS が感染していた場合は、OS の感染したファイル自体を削除・隔離しますので、感染していない OS を新たにインストールするまでホスト機を使用できなくなる可能

性があります。

- ・システムファイルに感染したウイルスは削除・隔離できない場合があります。
- ・システムメモリに感染したウイルスは削除・隔離ができません。
- ・ウイルスは日々、新種が見つかっています。検知や削除・隔離ができない場合がありますので最新のウイルス定義ファイルでウイルススキャンを実行してください。
- ・ウイルスによってレジストリが書き換えられた場合、本製品はレジストリを修復する機能を持っていないためウイルスを削除・隔離後、正常にシステムが起動できない場合があります。
- ・本件製品のライセンス期間が終了すると、最新のウイルス定義ファイルは取得できなくなります。ライセンス終了後は、Trellix プログラムによる如何なる保護も提供されず、又保証されません。ライセンスが終了したにも拘わらず、お客様が本件製品を継続使用し、これにより損害を生じたとしても、弊社、販売代理店は、一切その責任を負いません。
- ・本製品では削除・隔離できないウイルスがございます。
- ・本製品は、最新のウイルスパターンファイルに更新することで、Trellix 社が対応しているウイルスの検知が可能であり、すべてのウイルスを検知することを保証しているものではありません。なお、暗号化されているファイルやパスワード付きの圧縮ファイルなど、ウイルスを検出できない場合もあります。
- ・お客様は、弊社が本製品の利用状況に関わる技術情報（お客様のご利用の端末情報を除く）を含み、これらに限定されませんが、技術および関連情報を収集および使用する場合がありますこと、これらの情報は、弊社製品に関連するソフトウェアアップデート、製品サポート、およびその他サービスをお客様に円滑に提供するために定期的に収集されることについて、お客様は同意されたものとします。弊社は、商品の改善またはお客様に対するサービスもしくは技術の提供を行うために、お客様を個人的に識別しない方法に限り、これらの情報を使用することができるものとします。

保管上のご注意

下記の場所では本製品を保管しないでください。製品に悪影響を及ぼしたり、感電、火災の原因になったりする場合があります。

- ・直射日光があたる場所
- ・水濡れの可能性のある場所
- ・暖房器具の周辺、火気のある周辺
- ・高温（50℃以上）、多湿（85%以上）で結露を起こすようなところ、急激に温度の変化があるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・強い磁界や静電気の発生するところ
- ・ほこりの多いところ

製品保証規定

製品保証期間内に発見された不具合につきましては、本製品に起因する不具合と判断されたものに限り、無償修理又は代替品を納入させていただきます。また、輸送途中における製品の破損、故障に関しては、あらかじめ弊社の責に帰すべき事由に基づく破損、故障と判断されたものに限り、無償修理又は代替品を納入させていただきます。

また、アプリケーションプログラムの、お客様の特定目的の適合性については、これを保証できかねます。

なお、下記の場合においては、弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

- ・納入後の輸送（移動）時の落下衝撃等、お客様の取り扱い不具合により生じた故障、損傷の場合
- ・地震・雷・風水害などの天災および弊社の責任以外の火災災害による故障、損傷の場合
- ・弊社以外で修理、改造された場合
- ・本書に記載された使用方法及び注意事項に反する取扱から生じた故障、損傷の場合
- ・本製品を接続する対象機器の故障、トラブルに起因する場合
- ・本製品内に記録されたプログラムやデータの消失、破損（本製品の不具合により、メモリ内に記録されたプログラムや各種データが破損または消去された場合といえども、当該プログラムまたはデータに対し、弊社は一切の責任を負いません。）
- ・本製品の紛失、盗難などにより第三者の手に製品が渡った場合に、記録データが漏洩する可能性があります。その場合に発生しうる損害に対する補償は、一切責任を負いかねますので、製品の管理には十分にご注意ください。

補償の制限

如何なる場合であっても、弊社、販売代理店は、お客様に対して、本件製品に関連して生じた、利益の損失、使用の損失、データの損失、信用の損失、信頼の損失、ビジネスの中断若しくは他の一切の類似の損害を含む如何なる付随的な、間接的な、特別な、また派生的な損害、及び逸失利益の喪失に係る賠償の責任を負いません。

2 使用許諾

本契約は、お客様（以下「お客様」とします）とハギワラソリューションズ株式会社（以下「弊社」とします）との間で弊社がお客様へ提供するソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）の使用権許諾に関して次のように条件を定めます。

弊社は、お客様に対して、以下の条件に従って許諾ソフトウェアの使用を許諾いたします。お客様は、本契約書の内容をしっかりとお読みになり、本契約書の内容に同意できる場合に限り、お客様の責任で許諾ソフトウェアを使用してください。許諾ソフトウェアを使用することによって、お客様は本契約の各条項に同意したものとみなされます。本契約の各条項に同意されない場合、弊社はお客様に対し、許諾ソフトウェアのご使用を許諾できません。

第1条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従い弊社からお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は弊社に帰属し、お客様に移転いたしません。

第2条（使用権）

1. 弊社は、許諾ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、お客様が取得または購入された許諾ソフトウェアがインストールされている電子機器上において、許諾ソフトウェアをお客様の機器等に対して使用する権利をいいます。
3. お客様は、許諾ソフトウェアの全部又は一部を複製、複写、並びに、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。

第3条（権利の制限）

1. お客様は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、譲渡、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを用いて、弊社又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。
3. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. お客様は、本契約に基づいて、許諾ソフトウェアがインストールされている電子機器と一体としてのみお客様の許諾ソフトウェアに関する権利の全てを、譲受人が本契約の条項に同意することを条件に譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトウェアの複製物を保有することはできず、許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、媒体、電子文書及び本契約書を含みます）を譲渡しなければなりません。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、弊社または、本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利を弊社に認められた原権利者（以下原権利者として）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（責任の範囲）

1. 弊社及び原権利者は、第6条2項に定義するアップデートデータが正常にインストールできることを保証いたしません。また、弊社及び原権利者は、当該アップデートデータのインストールによってお客様に損害が発生しないことを保証いたしません。
2. 弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアにエラー、バグ等の不具合がないこと、若しくは許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること又は許諾ソフトウェアの使用がお客様及び第三者に損害を与えないことを保証いたしません。また、弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことを保証いたしません。
3. 許諾ソフトウェアの稼動が依存する、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェア又はネットワークサービス（第三者が提供する場合に限られず、弊社又は原権利者が提供する場合も含みます）は、当該ソフトウェア又はネットワークサービスの提供者の判断で中止又は中断する場合があります。弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアの稼動が依存するこれらの製品、ソフトウェア又はネットワークサービスが中断なく正常に作動すること及び将来に亘って正常に稼動することを保証いたしません。
4. お客様に対する弊社及び原権利者の損害賠償責任は、当該損害が弊社又は原権利者の故意又は重過失による場合を除きいかなる場合にも、お客様に直接且つ現実に生じた通常の損害に限定され且つお客様が証明することのできる許諾ソフトウェアの購入代金を上限とします。
5. 弊社又は原権利者は、債務不履行及び不法行為等の理由の如何にかかわらず、如何なる場合においても、お客様に生じた逸失利益、結果的損害、間接損害、若しくは、データ消失及び破損における損害については、一切賠償する責を負わないものとする。
6. 弊社は、弊社ウェブページにて定めるお問い合わせ窓口（許諾ソフトウェア購入ページからリンクしてご確認ください。）に限り、お客様が弊社から使用許諾を受けた許諾ソフトウェアに関する技術的サポートを提供します。但し、弊

社は、お客様の同意を得ることなく、当該窓口の受付時間及び当該サポートの提供の有無について随時変更することができるものとします。なお、弊社は、お客様との間で、別途契約を締結しないかぎり、当該サポートをお客様に提供及び継続する義務を一切負うことはありません。

第6条（著作権保護及び自動アップデート）

1. お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約に従うものとします。
2. お客様は、弊社又は弊社の指定する第三者がウェブ上に、許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜にアップデートデータ（以下「アップデートデータ」とします）を公開する場合は、アップデートデータ公開後 90 日以内に許諾ソフトウェアをアップデートしなければなりません。また、お客様は、アップデートデータ公開後 90 日を経過した場合は、旧許諾ソフトウェアを、アップデートをする目的以外で使用することができません。お客様は、(i)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除されることがあること、及び(ii)アップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約が適用されることに同意するものとします。

第7条（契約の解約）

1. 弊社は、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約することができるものとします。
2. 前項の規定により本契約が終了した場合、お客様は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、弊社に対して返還するものとします。お客様が許諾ソフトウェアを廃棄した場合、直ちにその旨を証明する文書を弊社に差し入れるものとします。
3. 本条 1 項の規定により本契約が終了した場合といえども、第 4 条、第 5 条、第 7 条第 2 項及び第 3 項並びに第 8 条第 1 項及び第 3 項乃至第 5 項の規定は有効に存続するものとします。

第8条（データ使用に対する同意）

お客様は、弊社が本製品の利用状況に関わる技術情報（お客様のご利用の端末情報を除く）を含み、これらに限定されませんが、技術および関連情報を収集および使用する場合がありますこと、これらの情報は、弊社製品に関連するソフトウェアアップデート、製品サポート、およびその他サービスをお客様に円滑に提供するために定期的に収集されることについて、お客様は同意されたものとします。

弊社は、商品の改善またはお客様に対するサービスもしくは技術の提供を行うために、お客様を個人的に識別しない方法に限り、これらの情報を使用することができるものとします。

第9条（その他）

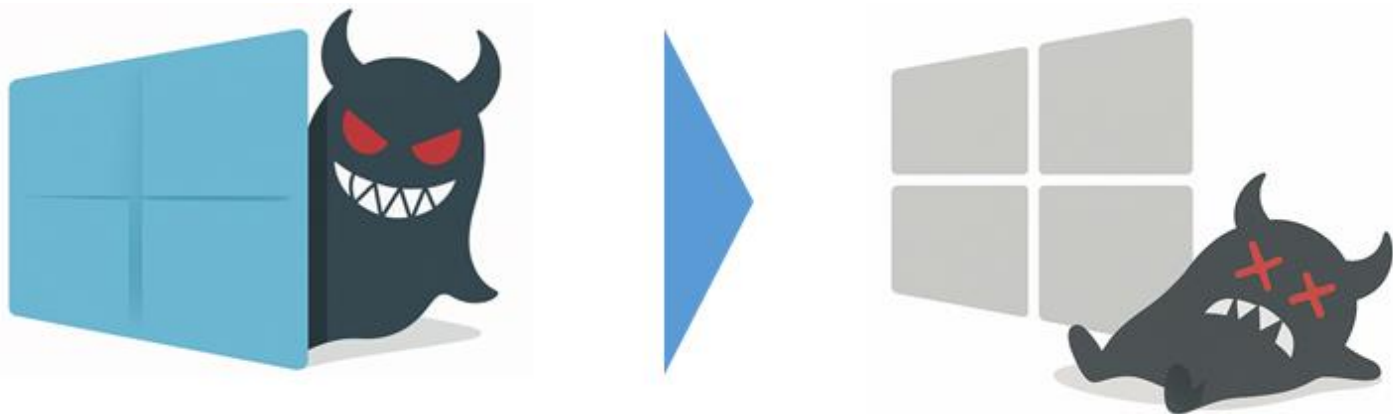
1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを国外に持ち出して使用する場合は、適用ある条例、法律、輸出管理規制、命令に従うものとします。
3. 本契約に関連する一切の紛争については、弊社本店所在地の地方裁判所または簡易裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。
4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。
5. 本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及び弊社は誠意をもって協議し、解決するものとします。

3 USB ブートスキャンについて

「ワクチンUSB ブートスキャン」は、お使いの端末の OS から完全に独立した環境で動作するマルウェア検出・駆除モードです。

通常のマルウェア対策ソフトは、Windows などの OS 上で動作するため、OS に深く組み込まれたマルウェアにはアクセスが難しい場合があります。

「ワクチンUSB ブートスキャン」は、USB メモリから PC を直接起動。端末の OS を介さずにディスクやファイルシステムに直接アクセスし、OS に隠れたマルウェアや、OS 起動時に活動するマルウェア等を検出・駆除します。古い OS が搭載されている端末への使用も期待できます。



■ブートスキャンのご利用ケース

- 通常のマルウェア対策ソフトやワクチン USB で駆除できないマルウェアがいる端末に利用
- 通常のマルウェア対策ソフトやワクチン USB の OS サポートが終了している端末 (WindowsXP など) に利用



■ブートスキャンの使用方法動画

ワクチンUSB ブートスキャンの使用方法動画は[こちら](#)からご確認ください。

■注意

- 全てのマルウェアを駆除することを保証するものではありません
- 全ての環境で動作することを保証するものではありません。

USB ブートスキャン時の動作環境

ワクチン USB ブートスキャン利用時の動作環境は次のとおりです。

注意：通常のワクチン USB3 の動作環境ではありません。

USB インターフェース	USB 2.0 (High Speed/Full Speed) / USB3.0(Super Speed)
動作環境	<ul style="list-style-type: none">• CPU：Intel 64 および x86 アーキテクチャ CPU ※arm 環境には対応していません• メモリ：1GB 以上 ※推奨 2GB 以上• ディスプレイ解像度：VGA(640x480) 以上• USB CD/DVD からの起動が可能であること
対応端末 OS	<ul style="list-style-type: none">• WindowsOS• LinuxOS
対応端末搭載ファイルシステム	EXT、EXT2、EXT3、EXT4、XFS、Btrfs NTFS、FAT16、FAT32、exFAT
動作確認済みストレージ	SATA HDD、SATA SSD、NVMe SSD、USB メモリ

注意：上記のすべてを満たす環境であっても動作を保証するものではありません。

5 制限事項について

●BitLocker/TCG-OPAL 等によるドライブ暗号化が行われている場合

Windows の機能である BitLocker・同等のサードパーティ製暗号化ソフト・TCG-OPAL 等でドライブ全体が暗号化されている場合、マルウェアスキャンはできません。

●Windows のアクセス制御（権限設定）を設定している場合

Windows でフォルダやファイルに特別なアクセス権限（アクセス制御リスト：ACL）を設定している場合、ファイルの権限設定によってワクチン USB が特定ファイルへのアクセスを制限される場合があります。

●Windows の特殊なシステムファイルやシステムフォルダへのアクセス

Windows のシステムファイル（例：Windows フォルダの一部、Program Files の一部 など）には、アクセス制限されている場合があります。

●高速スタートアップ（Fast Startup）が有効な場合

Windows の高速スタートアップ機能が有効になっていると、シャットダウン時に完全にシステムが終了せず、一部の情報がディスクに保存されたままになります。この状態で使用した場合、ファイルシステムが破損する可能性があります。必ず高速スタートアップを無効にしてからご利用ください。

■高速スタートアップの無効化方法（Windows 側での操作）:

- 1：コントロールパネルを開き、「電源オプション」を選択。
- 2：「電源ボタンの動作を選択する」をクリック。
- 3：「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック。
- 4：「高速スタートアップを有効にする（推奨）」のチェックを外し、「変更の保存」をクリック。

●セキュアブート/TPM を使用している場合

UEFI セキュアブート/TPM が有効になっていると、ワクチン USB ブートスキャンが起動しない場合があります。

●USB CD-ROM ブートに関する制限

使用する端末（PC）の UEFI/BIOS が、USB CD-ROM からのブートに対応していない場合は、ワクチン USB ブートスキャンは起動ができません。

UEFI/BIOS が USB CD-ROM からのブートに対応している場合でも、機種や設定によっては、必ずしもワクチン USB ブートスキャンが正常に起動するとは限りません。

●スキャン対象とする USB メモリの途中接続

ワクチン USB ブートスキャンはスキャンする端末に接続されている USB メモリ内のファイルをスキャンします。ただしスキャン対象とする USB メモリはワクチン USB ブートスキャンを起動する前（端末の電源 ON 前）に端末に接続してください。起動前に接続されていない USB メモリはスキャン対象外となります。

●仮想環境や LVM2(Logical Volume Manager2) に関する制限

ディスクやパーティションの仮想化や抽象化するシステム(LVM2 等)には対応しておりません。

6 使用の流れ(概要)

ワクチン USB ブートスキャンのセットアップから使用までの流れを以下に記載します。詳細につきましては項7に記載しております。

■STEP1：事前セットアップ

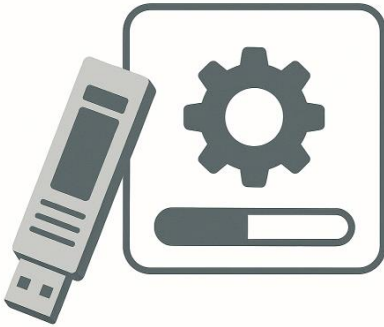
1-1：定義ファイルの更新

通常のワクチン USB3 で定義ファイルを更新してください。
更新した定義ファイルがワクチン USB ブートスキャン時に使用されます。



1-2：USB ブートスキャン設定

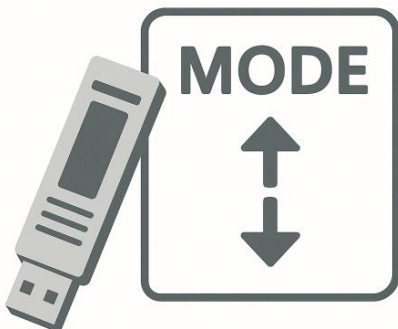
通常のワクチン USB3 で USB ブートスキャン時の動作を設定画面から決定してください。



設定	動作
スキャンのみ(初期)	ワクチン USB ブートスキャン起動後に自動で端末の全ドライブに対してマルウェアスキャンを行います。マルウェア検知時に削除は行われません。
スキャン+削除	ワクチン USB ブートスキャン起動後に自動で端末の全ドライブに対してマルウェアスキャンを行います。マルウェア検知時に削除します。

1-3：USB ブートスキャンへ切り替え

ワクチン USB ブートスキャンモードへのアップデート(切り替え)を行う。



[ワクチン USB ブートスキャン アップデーター ダウンロードサイト]
https://www.hagisol.co.jp/products/offline/usb3_boot_update.html

■STEP2：ワクチンUSB ブートスキャンを使用する

ワクチンUSB をスキャンする端末に接続し、端末を再起動する※。ワクチンUSB ブートスキャンが起動し、1-2 で設定したスキャンが自動的に行われます。

※既に電源が切れている場合、端末をパワーオンしてください。



■STEP3：通常のワクチンUSB モードへ戻し、ログの確認

再度通常のワクチンUSB3 として使用する場合、以下のアップデートソフトを適応してください。USB ブートスキャンのログは通常のワクチンUSB3 の[ログ閲覧]から確認してください。

[ワクチンUSB3 アップデーター ダウンロードサイト]

https://www.hagisol.co.jp/products/offline/usb3_update.html

その後にワクチンUSB を立ち上げ、ログを確認してください。



7 事前セットアップ(STEP1)

ワクチン USB ブートスキャンを使用するには以下の事前セットアップが必要となります。

7-1 : 定義ファイルの更新

7-2 : USB ブートスキャン設定

7-3 : USB ブートスキャンへ切り替え

定義ファイル更新

インターネットに接続している PC に本製品を接続し、ワクチン USB を起動し、メイン画面から定義ファイル更新を行ってください。



通信環境により、ウイルス定義ファイルのダウンロードには時間がかかる場合があります。
ウイルス定義ファイルのダウンロード中は、対象機器や PC から本製品を抜かないでください。
アクセス LED（緑色）が点滅していないことを確認してから取り外してください。
無理やり抜くと、データが壊れて本製品が故障する原因となります。

USB ブートスキャン設定

ワクチン USB ブートスキャンで動作するモードを設定してください。モードは以下 2 つになります。

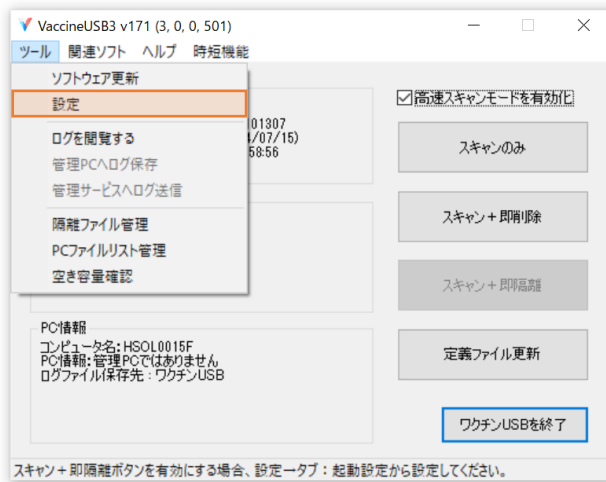
モード	動作
スキャンのみ(初期設定)	<ul style="list-style-type: none">スキャン動作：スキャン実施のみ ※マルウェア検知時に削除は行われません。スキャン範囲：端末の全ドライブ内の全ファイルスキャンタイミング：起動後自動的にスキャンが開始されます。
スキャン+削除	<ul style="list-style-type: none">スキャン動作：スキャン実施を行い、マルウェアを検知した場合、削除します。スキャン範囲：端末の全ドライブ内の全ファイルスキャンタイミング：起動後自動的にスキャンが開始されます。

※初期設定はスキャンのみ行う設定になっています。

※本設定はワクチン USB3 の通常モード時の設定には影響はありません。

■設定方法

1：ワクチン USB を起動し、メイン画面のツールバーの[ツール]を選択し、[設定]をクリックしてください。



2：設定画面のタブ：USB ブートスキャンを選択し、設定を行ってください。



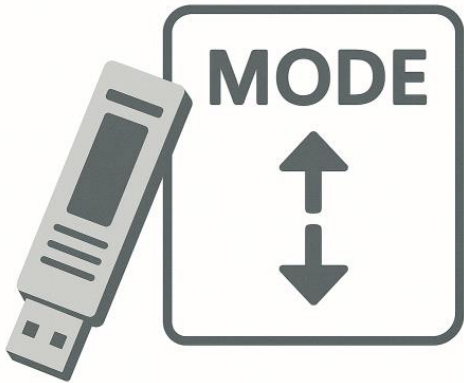
USB ブートスキャンへ切り替え

ワクチン USB ブートスキャンを使用するにはワクチン USB ブートスキャン モードへアップデート(切り替え)する必要があります。

以下サイトからワクチン USB ブートスキャン アップデーターをダウンロードし、ワクチン USB へ実施してください。

[ワクチン USB ブートスキャン アップデーター ダウンロードサイト]

https://www.hagisol.co.jp/products/offline/usb3_boot_update.html



注意：ワクチン USB ブートスキャンモードへ切り替えると、ワクチン USB 通常モードは一時的に使用できなくなります。ワクチン USB 通常モードへはいつでも戻すことができます。戻し方は[こちら](#)をご確認ください。

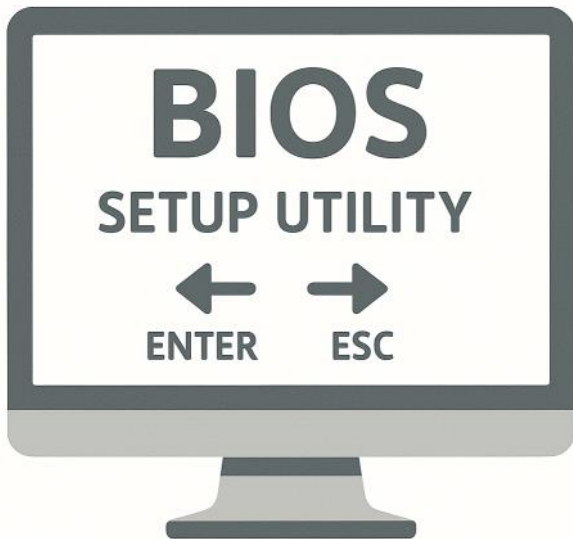
8 ワクチン USB ブートスキャンを使用する(STEP2)

- 1：USB ブートスキャンモードのワクチン USB3 をスキャンする端末へ接続します。
端末を再起動してください。※既に電源が切れている場合、端末をパワーオンしてください。



- 2：端末が起動中に BIOS または UEFI のブートメニューへ移動してください。
一般的には再起動直後に [Del]、[F2]、[F10] キーを押すとメニューへ移動します。

BIOS または UEFI のブートメニューは端末によって画面・項目が異なります。
メニューでブート設定項目を探し、ワクチン USB の「VUSB_BOOT」を最初にブートする製品に設定し、BIOS・UEFI を終了してください。



注意：ブート設定項目が存在しない、BIOS、UEFI はございます。BIOS、UEFI メニューにつきましては端末メーカーへご確認をお願いします。

3：端末を再起動すると、ワクチンUSB ブートスキャンが起動し、スキャンが開始されます。

■USB ブートスキャン中 表示画面

●スキャン画面

```
=====
VaccineUSB Boot Scan ver110.316
Copyright (c) HAGIWARA Solutions Co., Ltd.
=====
Scan Mode:Scan Only
Scan Range:Full Scan (All Files)
Start Time:2025/04/10 13:25:31
CAUTION: DO NOT DISCONNECT THE DEVICE WHILE RUNNING
CAUTION: DO NOT LOG OUT OR SUSPEND WHILE RUNNING

Find Device...
Unzip dat...
Init Engine...

--VaccineUSB3 information-----
Definition file version : 11398 (2025/04/08)
-----

Now Scanning...
Total Files Scanned:      260 ( 99%) Infected Files Found:  0
```

●スキャン画面説明

Scan Mode	ワクチンUSB ブートスキャンの動作モードです ・ Scan Only：マルウェア スキャンのみ行います。 ・ Scan + Auto delete：スキャンを実施し、マルウェア検知時に削除します。
Scan Range	スキャンする範囲です ・ Full Scan (All Files)：全ドライブをスキャンします。
Start Time	スキャンの開始日時です
Definition file version	定義ファイルバージョンです。
Total Files Scanned	スキャンしたファイル数(進捗[%])です。
Infected Files Found	検知したマルウェア数です。

●スキャン結果 画面

```
--Scan Summary-----
Status:WARNING (Malware was found)
Total Files Scanned:731
Infected Files Found:1
Files Removed:0
Scan End Time:2025/04/10 13:34:19
Total Duration:528 s
-----
```

●スキャン結果画面説明

Status	<p>スキャン結果(4 種類)です</p> <p>[1]SAFETY (Scan completed successfully. No malware found) →スキャン結果：マルウェアはありませんでした</p> <p>[2]SAFETY (Scan completed successfully. All detected malware was removed) →スキャン結果：マルウェアを検知し、すべて削除しました</p> <p>[3]WARNING (Malware was found) →スキャン結果：マルウェアを検知しました</p> <p>[4]WARNING (Some malware could not be removed) →スキャン結果：マルウェアを検知しましたが、削除できませんでした</p>
Total Files Scanned	スキャンした総ファイル数です
Infected File Found	検知したマルウェア数です
File Removed	削除したマルウェア数です
Scan End Time	スキャンが完了した日時です
Total Duration	スキャンを行った時間(秒)です

●検知したマルウェア情報説明

マルウェアが検知された場合、マルウェア情報が表示されます。

```
[Virus001]
Path=/media/user1/SECURE/eicar.com
InfectType=AVT_TEST
VirusName=EICAR test file
Hash=3395856ce81f2b7382dee72602f798b642f14140
CleanAction=0x29AA0024:CleanActionNoAction
```

Path	マルウェアのフルパス
Infect type	Trellix 社が規定しているマルウェア(ウイルス含む)の種類
VirusName	Trellix 社が規定しているマルウェア(ウイルス含む)名
Hash	マルウェアのハッシュ
CleanAction	<p>マルウェア スキャンの結果</p> <ul style="list-style-type: none"> • CleanActionNoAction：ウイルス発見しました（削除/隔離処理行なっていません） • CleanActionDeleteFail：ウイルスの削除に失敗しました。 • CleanActionQuarantineFail：ウイルスの隔離に失敗しました。

4：スキャン結果確認後に端末をシャットダウンしてください。その後にワクチン USB を取り外してください。

以上でブートスキャンの実施は完了です。

●LED仕様

ワクチン USB は搭載 LED でも検査状態・結果を表示します。モニターが無い端末実施でもご確認いただけます。

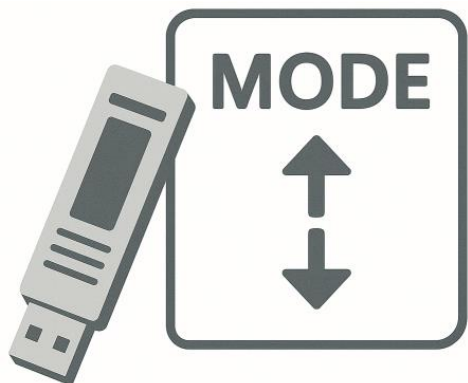


状態	青色 LED	赤色 LED
アイドル中(スキャン前)	消灯	消灯
スキャン中	*点滅*	*点滅*
[1]スキャン結果：マルウェアはありませんでした	点灯	消灯
[2]スキャン結果：マルウェアは検知し、すべて削除しました	点灯	消灯
[3]スキャン結果：マルウェアを検知しました	消灯	点灯
[4]スキャン結果：マルウェアを検知しましたが、削除できませんでした	消灯	点灯
その他エラー発生	消灯	*点滅*

9 通常のワクチン USB モードへ戻す(STEP3-1)

ワクチン USB を通常のワクチン USB モード(Windows でスキャン、定義ファイル更新、ログ確認等)へ戻すには、以下サイトからワクチン USB アップデーターをダウンロードし、ワクチン USB へ実施してください。

[ワクチン USB ソフトウェア アップデートソフト ダウンロードサイト]
https://www.hagisol.co.jp/products/offline/usb3_update.html



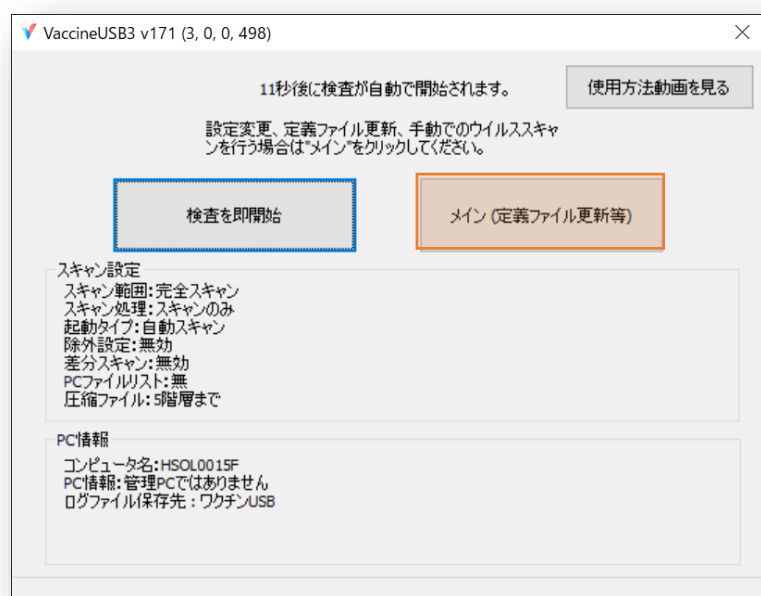
10 ログを確認する (STEP3-2)

ブートスキャンで保存したログは、通常のワクチン USB モードでのログ閲覧方法と同じ方法でご確認いただけます。スキャンした結果は、ログファイルとしてワクチン USB 内に保存します。ログファイルは、スキャンするたびに生成します。ログの確認方法は以下をご確認ください。

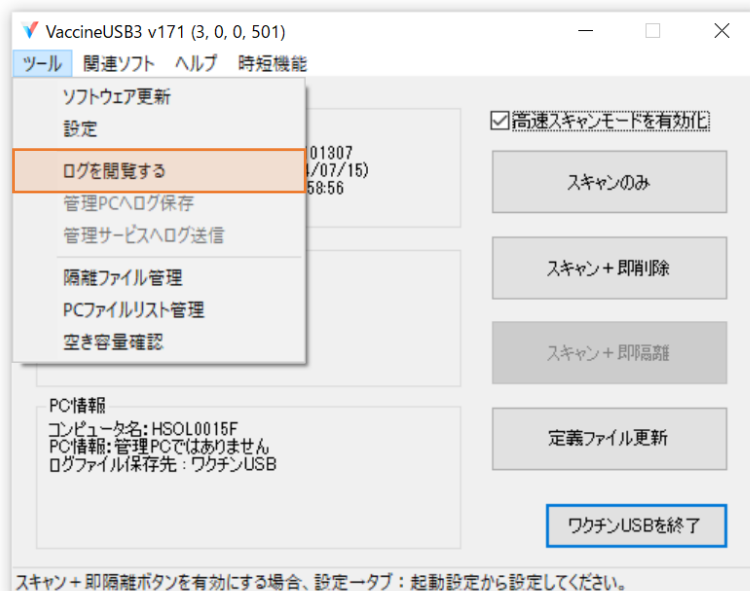


1. PC へ本製品を接続し、起動画面で[メイン]ボタンをクリックしてください。

※この画面が表示され約 15 秒が経つと、自動的にスキャンが始まりますので、それまでに操作を行ってください。

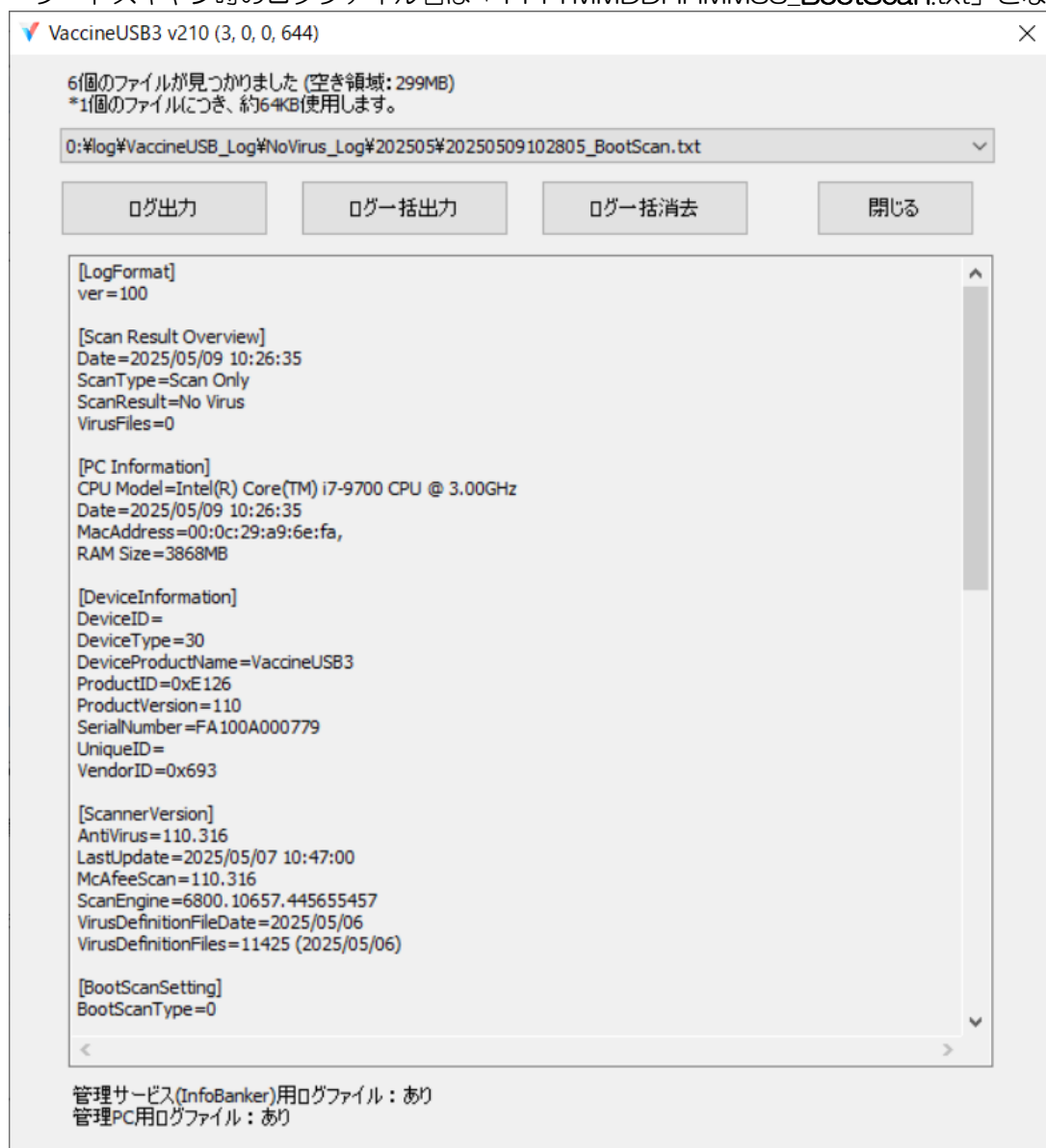


2. ツールバーの[ツール]を選択し、[ログを閲覧する]をクリックしてください。



3.ログ画面が表示されます。

ブートスキャン時のログファイル名は「YYYYMMDDHHMMSS_BootScan.txt」となります。



注意：ブートスキャン時のログは別売り管理サービス：InfoBanker オンプレミス、クラウドに対応していません。

ログ内容

項目 (Key)	内容
セクション[LogFormat] ログのフォーマット情報	
ver	ログのフォーマットバージョン
セクション[Scan Result Overview] スキャン結果の概要	
Date	ワクチンUSB スキャン開始日時
ScanType	スキャンタイプ (0: スキャンのみ、1: スキャン+即削除)
ScanResult	最終的なスキャン結果 ・ウイルスなし: No Virus ・ウイルスあり: Virus Found
VirusFiles	ウイルス検知数
セクション[PC_Information] PC情報	
CPU Model	CPU モデル
Date	ログファイル作成日時
MacAddress	MAC アドレス
RAM Size	メモリ容量
セクション[DeviceInformation] デバイス情報	
DeviceID	デバイスのケースに貼り付けられている番号(USB シリアルと同じ番号になります)
DeviceType	ハギワラソリューションズ管理番号(30 固定)
DeviceProductName	VaccineUSB3 固定です
ProductID	デバイスの ProductID
ProductVersion	製品バージョン
SerialNumber	デバイスの USB シリアルナンバー
UniquelD	弊社の管理番号
VendorID	デバイスの VendorID
セクション[ScannerVersion] スキャンアプリ情報	
AntiVirus	アンチウイルスソフトウェアバージョン
LastUpdate	ウイルス定義ファイル更新日
McAfeeScan	アンチウイルスソフトウェアライブラリバージョン
ScanEngine	スキャンエンジンバージョン
VirusDefinitionFileDate	ウイルス定義ファイル日時
VirusDefinitionFiles	ウイルス定義ファイルバージョン
セクション[BootScanSetting] ブートスキャン設定情報	
BootScanType	ブートスキャン時のスキャンタイプ (0: スキャンのみ、1: スキャン+即削除)
セクション[TargetList] スキャンターゲットリスト	
TargetO	スキャンする場所のパス (Oには数字) ※複数ある場合は複数表示されます。 ※ワクチンUSB のドライブは表示されません
セクション[CustomInformation] カスタム情報 ※お客様が任意で設定	

CompanyName	レポート発行会社名
TargetProductName	スキャンした端末名・製品名
VaccineUSBManagementNumber	ワクチンUSBの管理番号
セクション[License] ライセンス情報	
LicenseAlert	弊社管理番号
LicenseLast	ライセンス終了日
LicenseStart	ライセンス開始日
LicenseTerm	ライセンス日数
セクション[Result] スキャン終了時の結果	
StartTime	スキャンの開始日時 ※ブートスキャン時は時刻情報が正しく表示されない場合があります。
EndTime	スキャン終了時間 ※ブートスキャン時は時刻情報が正しく表示されない場合があります。
TotalTime	スキャンにかかった時間 (秒)
TotalThread	スキャンの同時実行数
TotalScanFiles	スキャンした総ファイル数
VirusFiles	マルウェア検知数
DeleteVirusFiles	マルウェア削除成功数
IsolateVirusFiles	固定値：0
NotDeleteOrNotIsolateVirusFiles	マルウェア削除失敗数
ScanResult	最終的なスキャン結果 ・ウイルスなし：No Virus ・ウイルスあり：Virus Found
BootScanExecutionType	ブートスキャン時に実施されたスキャンタイプ (0：スキャンのみ、1：スキャン+削除)
BootScanExecutionMode	ブートスキャン時に実施されたスキャン範囲 0：完全スキャン
BootScanExecuted	0：ブートスキャン未実施 1：ブートスキャン実施
セクション[Virus***] 検知したマルウェア(ウイルス含む)の情報 (***: ウイルスナンバー (001~))	
Path	マルウェアのフルパス
Infect type	Trellix 社が規定しているマルウェア(ウイルス含む)の種類
VirusName	Trellix 社が規定しているマルウェア(ウイルス含む)名
CleanAction	マルウェア スキャンの結果 ・CleanActionNoAction：ウイルス発見しました (削除処理行なっていません) ・CleanActionVirusDeleteSuccess：ウイルス削除成功しました ・CleanActionDeleteFail：ウイルスの削除に失敗しました。
Result	弊社の管理項目
マルウェア検知時のログ例	
マルウェア検知時のログ例	[Virus001] Path=/home/user/Desktop/5/eicar.txt InfectType=AVT_TEST VirusName=EICAR test file CleanAction=0x29AA0025:CleanActionVirusDeleteSuccess Result=0x710f0003:KEY_AV_SUMMARY_INFECTED,

項目 (Key)	内容
セクション[PC Infomation in detail] PC の詳細情報 (**** : (0001~))	
BIOSVersion	BIOS バージョン
CPUTotal	CPU の数
CPUTotalCore	CPU コア数
DiskTotal	ドライブ数
SystemHostName	ホスト名
SystemManufacturer	コンピュータの製造元
SystemModel	コンピュータの型名
SystemProductIdentifyingNumber	コンピュータのシリアル
SystemProductUUID	マザーボードの UUID
セクション[PC Drive] PC のドライブ情報 (** : (01~))	
DriveLetter**	ドライブのマウントポイント ※ワクチン USB のマウントポイントは表示されません
DriveCapacity**	ドライブ全容量(GB)
DriveFreeCapacity**	ドライブ空き容量(GB)

11 通常のワクチンUSBモードとの比較

「ワクチンUSB ブートスキャン」モードはブートスキャンに特化しているため、通常のワクチンUSBモード(v210)と比較して出来ることが制限されております。

項目	ワクチンUSB ブートスキャンモード	通常ワクチンUSB モード
ブートスキャン	✓	-
WindowsPC スキャン	-	✓
LinuxPC スキャン	✓	✓
ログの作成	✓	✓
定義ファイル更新	-	✓
ログ閲覧	-	✓
設定変更	-	✓
ソフトウェア更新	-	✓
隔離ファイル管理	-	✓
管理サービス用ログの作成	-	✓
管理サービス*へのログ送信	-	✓

*管理サービス： InfoBanker オンプレミス、InfoBanker クラウド(別売り)

- ◆ 本製品は、CD-ROM 領域とリムーバブル領域を併せ持つ USB ストレージ技術「UDRW Technology」（特許取得済み）を搭載しております。
日本：特許第 3914949 号 特許第 3699717 号 特許第 3513147 号 米国：Patent No.7,111,121 B2 中国：特許番号 ZL200410038475.6 香港：特許番号 HK1068990 B 台湾：発明第 1261757 号 韓国：特許 第 589521 号 欧州特許：(イタリア、フランス、ドイツ、イギリス) Patent No.149182 号
- ◆ 掲載されている商品の仕様・外観、およびサービス内容等については、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◆ Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ◆ その他掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中には©および ™ マークは明記しておりません。
- ◆ サードパーティライブラリについて
本ソフトウェアは GNU libstdc++ (libstdc++.so.5) を使用しています。GNU libstdc++ は「ランタイム例外」を伴う GNU General Public License バージョン 2 に基づいて配布されます GNU GPL の全文は以下の URL で入手可能です：
<https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

ソースコードの入手方法

GNU libstdc++ のソースコードは、GNU GCC (GNU Compiler Collection) の一部として提供されています。以下の方法で入手可能です：

GNU GCC 公式ウェブサイト:

<https://gcc.gnu.org/pub/gcc/releases/>

※libstdc++.so.5 は gcc-3.2.x シリーズに含まれています

GNU FTP ミラー:

<https://ftp.gnu.org/gnu/gcc/>

ユーザーの権利について

GNU GPL に基づき、ユーザーには以下の権利が保証されています：

ライブラリのソースコードを入手し、改変する権利

改変したライブラリを使用して本ソフトウェアを再リンクする権利

本ソフトウェアは、ユーザーが新しいバージョンの libstdc++ で再リンクできるよう設計されています。再リンクの方法については、お問い合わせください。

注意: 本ソフトウェアは libstdc++ を動的リンクライブラリとして使用しています。本ソフトウェア自体のライセンスは、libstdc++ の LGPL ライセンスの影響を受けません。

【Debian GNU/Linux の使用に関する免責事項】

本製品は、USB メモリから起動する Live OS 環境として Debian GNU/Linux を採用しており、弊社製ソフトウェア「VaccineUSB3 ブートスキャン」はこの環境上で動作します。以下に、Debian GNU/Linux の使用に関する免責事項を記載いたします。

1. Debian ディストリビューションについて

本製品には、Debian GNU/Linux ディストリビューションが含まれています。Debian は多数の独立したオープンソースソフトウェアパッケージで構成されています。

• 弊社は、Debian およびその構成パッケージの動作・性能・互換性について一切の保証を行いません。

2. ソースコードの提供について

本製品に含まれる GPL 等のコピーレフトライセンスに基づくパッケージについて、以下の通りソースコードの提供に対応いたします。

- ソースコードは、お客様からのご請求に基づき提供いたします。
- ご請求は、以下のメールアドレスまでご連絡ください：vsolsupport@hagisol.co.jp
- 提供には、媒体費用や送料等の実費を請求する場合があります。
- 提供期間は、本製品の販売または配布開始日から**3 年間**です。
- 提供されたソースコードの動作について、弊社は一切保証いたしません。
- お客様がソースコードを改変された場合の動作についても、弊社は責任を負いません。

3. ライセンスの遵守について

- Debian およびその構成パッケージのライセンス条項は、お客様の責任において遵守してください。
- GPL、LGPL 等のライセンスに基づく再配布義務についても、お客様に責任があります。
- ライセンス違反に起因する法的責任について、弊社は一切責任を負いません。

4. セキュリティアップデートについて

- 本製品に含まれる Debian 環境について、セキュリティアップデートの提供は行っておりません。
- セキュリティ脆弱性に起因する損害について、弊社は一切責任を負いません。
- お客様自身で必要なセキュリティ対策を講じてください。

5. パッケージの動作保証について

- 本製品に含まれるオープンソースパッケージの不具合により生じた損害について、弊社は責任を負いません。
- パッケージ間の互換性問題に起因する不具合についても、弊社は責任を負いません。

6. サポート範囲について

- Debian およびその構成パッケージに関する技術サポートは提供しておりません。
- 弊社がサポートするのは、VaccineUSB3 ブートスキャンのみです。
- Debian に関するお問い合わせは、Debian プロジェクトやコミュニティをご利用ください。

7. システム改変について

• 本製品に含まれる Debian システムの構成変更（パッケージの追加・削除や設定変更等）により発生した不具合について、弊社は責任を負いません。

8. 再配布に関する注意事項

- 本製品を第三者に再配布または販売する場合は、含まれるオープンソースソフトウェアのライセンス条項を遵守してください。
- 特に、GPL 対象パッケージを含む製品の再配布時には、ソースコード提供義務が発生する可能性があります。

■ 著作権

• Debian GNU/Linux

Copyright c 1997-2025 Software in the Public Interest, Inc.

本製品に含まれる Debian GNU/Linux および関連パッケージは、それぞれのライセンス条項に従って配布されています。詳細は `/usr/share/doc/` 以下の各パッケージのドキュメントをご参照ください。

• VaccineUSB3 ブートスキャン

Copyright c 2025 Hagiwara Solutions

本ソフトウェアは弊社の独自ライセンスのもとで提供されます。

ワクチン USB3 USB ブートスキャン
マニュアル
2025年5月 発行
発行 ハギワラソリューションズ株式会社